

## 主な製品の売上高の状況と見込み

製品名	当第2四半期 売上高(実績) (億円)	対前年同期 増減率	2015年度 売上高(実績) (億円)	2016年度 売上高(見込み) (億円)	対前期 増減率
オプジーボ点滴静注	533	+1,714.0%	212	1,260	+495.7%
グラクティブ錠	148	△7.4%	314	295	△6.1%
オパルモン錠	88	△25.9%	227	175	△22.9%
リカルボン錠	56	△0.7%	113	115	+1.8%
オレンシア皮下注	54	+46.1%	80	115	+43.5%
イメンド／プロイメンド	50	+4.8%	95	100	+5.6%
リバスタッチパッチ	44	+13.3%	78	90	+14.9%
フォーシーガ錠	36	+118.4%	43	85	+98.9%
オノンカプセル	30	△25.6%	90	65	△27.4%
オノアクト点滴静注用	27	△3.4%	57	65	+13.9%
ステープラ錠	24	△7.9%	52	50	△3.2%
オノドライシロップ	18	△25.5%	56	45	△19.7%
フオイバン錠	20	△27.0%	52	40	△22.4%
キネダック錠	16	△29.7%	41	30	△26.6%
カイプロリス点滴静注用	2	(2016年8月発売)	—	20	(2016年8月発売)

## 多発性骨髄腫治療剤「カイプロリス®点滴静注用」新発売

本年8月に、多発性骨髄腫治療剤「カイプロリス®点滴静注用」を新発売しました。本剤は、細胞内に存在する酵素複合体であるプロテアソームに対して高い選択性を有するプロテアソーム阻害剤です。プロテアソームは細胞の増殖、分化および機能的細胞死を制御しており、このプロテアソームを阻害することで骨髄腫細胞の機能的細胞死を誘導します。多発性骨髄腫は血液



がんの一種で、治療法は複数存在しますが、寛解と再発を繰り返しながら進行し、既存の治療が効かなくなる難治性の病状に移行する場合も少なくないことから、新たな治療薬の開発が期待されています。カイプロリスは、多発性骨髄腫の患者さんおよびご家族に貢献できるものと考えています。